

プログラム

“統合任務に見る課題　ー機能、組織及び枠組みー”

09:30 – 09:45 開会挨拶：空将 石野次男 （防衛省統合幕僚学校長）

09:45 – 10:50 基調講演：ロバート・ゴードン（英陸軍退役少将）

11:00 – 12:05 特別講演：川端清隆（国連本部政治部政務官）

12:05 – 13:15 （休憩）

13:15 – 14:50 パネル討議

モデレーター：星野俊也

（大阪大学大学院国際公共政策研究科研究科長）

パネリスト：ロバート・ゴードン（英陸軍退役少将）

川端清隆（国連本部政治部政務官）

上野友也（岐阜大学准教授）

長 有紀枝（難民を助ける会理事長）

15:00 – 15:40 総括講演：星野俊也（大阪大学大学院国際公共政策研究科研究科長）

15:40 – 15:50 閉会挨拶：海将補 菊地 聡（防衛省統合幕僚学校副校長）

参加者紹介

基調講演者

ロバート・ゴードン (Robert Gordon)

元英国陸軍少将

ウェリントン・カレッジと聖キャサリーン・カレッジで教育を受け、ケンブリッジ大学から現代史の修士号を取得。1970 年、英国陸軍の騎兵連隊である第 17/第 21 ランサーズにて任官後、スーダン、キプロス等で勤務。1990 年から 1992 年にかけて、当時湾岸戦争に展開した第 17/第 21 ランサーズを指揮。1994 年、第 19 機械化旅団長に着任、旅団長在任中にボスニアに派遣され、国連防護軍 (UNPROFOR) 西ボスニア南部セクター司令官を務めた。1999 年には少将として、第 2 師団長に着任するとともにエジンバラ城主を務めた。2002 年、国連エチオピア＝エリトリア・ミッションの軍司令官に指名され、2004 年まで同職を務めた。2005 年に英国陸軍退官以降、コンサルティング会社を設立し、国連、欧州連合等と、平和支援作戦に係る専門家、講義、指導・教育等の役割で数多くの業務を請け負っている。

特別講演者

川端 清隆 (かわばた きよたか)

国連本部政治局政務官、大阪大学大学院国際公共政策研究科招聘教授

米国コロンビア大学大学院政治学部卒業。1988 年に国連本部政務官となり、安保理改組に関する特別作業部会や PKO 特別委員会などを担当した後、アフガン和平交渉やイラク危機への対応に携わる。現在は安全保障理事会でシリア紛争などを担当。大阪大学大学院国際公共政策研究科 (OSIPP) 招聘教授。著書に『イラク危機はなぜ防げなかったのか 国連外交の六百日』(岩波書店、2007 年) 等がある。

パネリスト報告者（報告順）

上野 友也（かみの ともや）

岐阜大学准教授

東北大学法学部卒業（副首席）。東北大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程前期修了（首席）。英国ウェールズ大学アベリストウイス校（国際政治学研究科）修士課程修了。東北大学大学院法学研究科トランスナショナル法政策専攻博士課程後期修了。法学博士。2007 年より日本学術振興会特別研究員（PD）、2010 年より阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター研究員を経て、2012 年より現職。著書に『戦争と人道支援』（東北大学出版会、2012 年）等がある。

長 有紀枝（おさ ゆきえ）

認定 NPO 法人難民を助ける会（AAR）理事長、立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授、立教大学社会学部教授

早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了。東京大学大学院「人間の安全保障」プログラム博士課程修了。学術博士。1991 年より 2003 年まで AAR 職員として、旧ユーゴスラビア、チェチェン、アフガニスタンなど紛争地の緊急人道支援や地雷対策事業、地雷廃絶活動に携わる。2008 年より AAR 理事長。著書に『スレブレニツァ あるジェノサイドをめぐる考察』（東信堂、2009 年）等がある。

パネル討議モデレーター、総括講演者

星野 俊也（ほしの としや）

大阪大学大学院国際公共政策研究科研究科長、教授、大阪大学総長補佐

上智大学外国語学部卒業。学術修士（東京大学）。国際公共政策博士（大阪大学）。在米日本大使館専門調査員、プリンストン大学ウッドロー・ウィルソン・スクール客員研究員、財団法人日本国際問題研究所主任研究員、聖心女子大学及び白百合女子大学非常勤講師、大阪大学大学院国際公共政策研究科助教授、スタンフォード京都センター・フェロー、豪ウーロンゴン大学客員研究員などを経て現職。著書に『平和構築・入門』（共著、有斐閣、2011 年）等がある。